

- 大学入学共通テスト速報
- 大学共通テストチャレンジ(1・2年生)

## 進路についての感慨深い話

副校長 成島 功二

副校長になる前は進路指導を担当していた期間が長く、多くの悩みや苦しみ、喜びに触れてきました。より良いアドバイスができるように色々と勉強もしましたが、進路についての選択や判断が正しかったのかどうかは、どのように考えてもその人が人生を終えるまで(終えても?)判らないものであるという結論に至り、であるならば、せめてより良いと考えられるアドバイスができるように色々と勉強して考えなければ、という無限ループから未だに抜け出せずにいます。そんな私がこの紙面で何を書けるのかと考え込みましたが、進路についてこれまでに学んだ中で得た、ある感慨深い話を紹介させていただくことにしました。

それはある研究者が【人生に幸福感をもたらすのはどのような要素か】ということ調査によって明らかにしようとした話です。この研究者は【幸福度】というものを【日常生活への自己満足度】と定義し、研究材料として多種多様な数多くの人々から【日常生活への自己満足度】を聞き取ることを始めました。多種多様ということ尽くすために会話ができる人であれば小さな子供から老人まで年齢に関係なくデータ収集を行うこととし、詳細な比較が可能となるように性別や職業、家族構成、国、人種、収入、資産、学歴、趣味、好きな食べ物などその人の様々な略歴を聞き取る計画を立てました。ここまではなるほどね、という話なのですが、この研究者は肝心の【日常生活への自己満足度】をどのように測るか、という問題に直面します。自己満足度なので客観性は関係なく、本人がそう思えばその通りの満足度として記録すればいいのですが、学術的な考察を行うためには数値化する必要があります。だいたい満足している、あまり満足していない、すごく満足している、普通です、といった聞き取り方では数値化が困難です。10点満点で何点ですか、という聞き取り方も考えられますが、調査対象には小さな子供もいます。国や地域によっては大人でも10点満点で何点か、という考え方にはなじみがないという場合も考えられます。みなさんならどうしますか。

この研究者はいわゆるニコニコマークを用いた段階評価を採用することでこの問題の解決を図りました。丸に二個の点と横棒一本という表現は極めて単純ながらもかなり幅広い人々に顔として認識してもらうことが可能であり、横棒を曲げるだけで満足の度合いを分かりやすく表現することもできます。つまりは口角だけを変えた表情の記号を(´U´)～(´ー´)～(´∩´)というように7段階作成し、その中から自身の【日常生活への自己満足度】を選んでもらったのちに1～7の数値に変換する、という方法です。あとは多種多様な人々から数多くの聞き取りを行い、例えば職業以外の要素がほぼ同じである人のデータを抽出してから職業別に【日常生活への自己満足度】の平均値等を算出することで、職業別の【日常生活への自己満足度】を比較することができるようになります。さて、【日常生活への自己満足度】を大きく左右するのはどのような要素だったのでしょうか。

字数制限が迫っているのでそこにたどり着いた経緯は割愛しますが、【幸福度】と最も強力な相関関係を示したのは【収入の多寡】でも【恋人の有無】でもなく【人生の選択をどれだけ自由に自分の意志で決めることができたか】という要素だったのだそうです。

現場からは以上です。スタジオにお返しします。

## ○大学入学共通テスト 速報

1月13・14日の2日間、大学入学共通テストが実施されました。自己採点集計結果の各予備校などへの提出が、今年度から全てWEB形式となりました。ところが、15日(月)当日はネットワークに中々つながらず、3年生の皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。

大学入試センターから平均点の中間集計が17日(水)に発表されました。最終発表は2月5日(月)の予定です。現在、河合塾と駿台・ベネッセ、東進ハイスクールから自己採点の集計に基づく合格目標ラインがネット上で発表されています。3年生には、合否判定予想を記した個人票が返却されました。これらをもとに、国公立大学2次試験の出願を行ってください。今年度の出願は1月21日(月)～2月2日(金)です。前期日程だけではなく、後期日程の出願もこの時に行います。注意しましょう。

3年生全体の結果は右の表の通りです。このうち、主に国公立大学志望者である文系5/6-8科目(900点満点)の平均点が全国比+130.6点(去年は+123.4点)、理系5-8科目(900点満点)の平均点が全国比+98点(去年は+83.9点)で、昨年を上回っています。自信を持ちましょう。また、2次試験まで1ヵ月以上もあります。2次試験対策の勉強時間が充分にとれる＝学力はこれから急上昇するはずだ、と前向きに勉強に取り組みましょう。

この勢いを保ちながら、3年生全員で、今後の私立大学と国公立大学の入試に挑みましょう。

## ○大学共通テストチャレンジ(1・2年生)

1月17日(水)大学共通テストチャレンジを実施しました。テスト終了後、東進ハイスクールの方から、共通テストなどに関する説明会がありました。主な内容は、以下の通りです。

- ①今回のテスト(今後の模試も同様)の目的は、学力を伸ばすためである(自分が心から行きたい第一志望校を想定して、そこに向けて、今から、何を、どのように勉強するかを考えて、実行する)。そのために大切なことは、1)結果を分析して現状を把握する。2)来年に向けて、日々の高校の学習を頑張る。
- ②自己採点が正確にできたかを確認する。例年、共通テストチャレンジで、誤差なく自己採点ができている生徒の割合は1割ほど。誤差をなくすために、今後の模試受験もある。
- ③「正確・緻密な精読ができるかどうか」よりも、「限られた時間の中でどのように情報を処理できるか」が問われている。これは国公立大学2次試験・私立大学一般入試でも同傾向である。

例) 共通テストの2日間で読む問題分量

2020年センター試験は「91,462文字」、2022年共通テストは「114,482文字」へ1.25倍に増加。

教科	科目	新宿高校	全国平均
国語	国語	146.60	115.3
地歴	世界史B	82.30	63.0
	日本史B	72.40	58.0
	地理B	73.70	68.4
公民	現代社会	66.00	57.4
	倫理	少数のため不掲載	57.1
	政経	少数のため不掲載	46.0
	倫理・政経	66.40	62.0
数学	数学Ⅰ・A	66.00	54.4
	数学Ⅱ・B	69.50	61.0
理科	物理基礎	36.80	30.9
	化学基礎	36.50	28.9
	生物基礎	37.90	32.7
	地学基礎	少数のため不掲載	36.7
	物理	75.20	64.4
	化学	65.70	56.9
	生物	68.10	55.7
	地学	なし	58.8
英語	英語リーディング*	71.20	53.3
	英語リスニング*	83.20	68.5
文系5/6-8	900点満点	666.6	536.0
理系5-8	900点満点	652.0	559.0

(注意)  
文系5(6)教科8科目、理系5教科8科目の平均点は、入試センターの発表はなし。データネット(ベネッセ・駿台)の予想である。

④①と②のために、成績表の見方について。

その他、今後の勉強を進めていく上で重要な意味を含んだ内容でした。今後に活かしましょう。

## ○「自由な時間」をどう過ごすか

昨年度発行の「新宿通信 NO. 82」と同じ内容です。大変重要なことと思いますので、再掲しました。

1月と2月には都立高校の入学試験があります。試験の当日や直後の採点日は登校禁止期間となり、在校生の皆さんは自宅学習になります。学校から離れる「自由な時間」をどう過ごすか、ぜひ考えてみてください。

2年生は3年0学期(新宿通信 NO. 92の「2年0学期」は誤りでした。申し訳ありません。)が始まっています。つまり、2年生というよりも「3年生の助走期間」に入っているのです。大学入試共通テストまで、あと1年を切りました。この助走期間を、1年後に「あの時に頑張っておいてよかった」と思えるような基礎定着の期間とするのか、それとも「あの時にもっと頑張ればよかった」と後悔する過ごし方をしてしまうのか、自身の行動次第です！

1年生にとっては、これまでの高校生活を振り返り、今後に向けて改めて自分の生活を見直す大切な時期です。1・2年次に借金を作ってしまうと、それを3年次だけで返すことは困難です。特に基礎力が足りていない苦手科目については、今のうちに少しでも借金を返しておきましょう。

「自由な時間」と言えばお気楽な印象がありますが、実は「自由な時間」＝「自分の責任で過ごす時間」なのです。流れていく時間に身を任せて過ごすのではなく、しっかりとしたタイムマネジメントを行っていきましょう。その時間にどのような価値を持たせるか、それを決めていくのは自分自身です。

### 先輩からの言葉

## 自分の可能性を信じて突き進みましょう！

33回生 入月 康晴

東京都立産業技術研究センター フェロー/

法政大学 理工学部 兼任講師

将来何になりたいかについて考えることは重要なことだと思いつつ、そのまま時間だけが過ぎていきました。小学生の頃は漠然と研究者になりたいと考えていた時期もありましたが、高校時代になってもあまり深く考えずに過ごしていました。いよいよ高3で理系、文系を決める時期になっても決まらず、文系から理系に変更するのは難しそうなので、とりあえず理系を選択しました。そもそも理系、文系という枠があり、なぜその枠にとらわれなければいけないのかと当時はかなり疑問でした。最終的には、自分はどちらかというと数学系統の方が好きだから理系の方が向いているだろうという程度で、工学系に進みました。結果的に、就職後にその道で博士後期課程まで進学することになりましたが、当時は知る由もありませんでした。

大学卒業後は出光興産(株)に就職しました。石油元売りということで、いかに安く原油を調達し、付加価値の高いガソリンや石油化学製品を効率的に作るかがポイントとなります。そこで私は、そうした製品を効率的に作るため、石油化学や石油精製装置を対象にプラント運転の自動化、安定化を行っていました。また当時は第二次AIブームでしたので、初期のニューラルネットワーク、ファジィ制御等を用いた自動化、安定化の技術開発をしていました。実際に稼働しているプラントを対象に自ら開発した制御システムを導入するので、システムが誤作動

すればプラントは爆発し、大事故につながる可能性があり、非常に怖いと感じる反面、やりがいや達成感がありました。プラント運転の自動化、安定化手法としては多種類あり、こうした手法を習得することで各制御対象に適した手法を導入したいと考え、博士後期課程まで進学することにしました。企業で働きながら博士後期課程にも行くことはかなり厳しかったですが、まわりの方のご支援もあり、無事に修了することができました。

その後、諸事情により地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターに勤務することになりました。当時はまだ携帯電話が登場したばかりで、スマートフォンは存在していませんでした。携帯電話やスマートフォンは、今や人々の生活において無くてはならない最も身近なツールです。当時から通信業界の製品開発に回路の書き換え可能な IC チップ (FPGA (Field Programmable Gate Array)) が活用されていました。通信規格は変更のスピードが速く、一度書き込んだら書き換えができない専用の IC チップを使用するよりは、プログラムを変えればすぐに回路の書き換え可能な IC チップの方が効率的だからです。そのような状況下、最初の研究テーマがこの回路の書き換え可能な IC チップのセキュリティ化に関するものでした。セキュリティ化する目的として、インターネットやコンピュータを安心して使い続けられるようにするためには、大切な情報が外部に漏れたり、ウイルスに感染してデータを壊されたりしないようにする必要があります。私にとっては未開拓の研究テーマでしたが、何とか論文掲載することができたことを懐かしく思っています。このように通信業界を見てもおわかりいただけると思いますが、情報技術分野の進歩は非常に早く、こうしたペースに追いつくことは今ではかなり厳しくなっています。

また現在は、法政大学理工学部で 90 名程度の学生に対して、情報技術に関連するプロジェクトマネジメントの講義を行っています。先端技術に関するものではありませんが、高校当時、このような分野に進み、大学で講義をするとは考えてもいませんでした。高校時代を含め、ある程度将来について考えることは大切ですが、その一方で走りながら自分の進む道を考えていくことが現実的ではないかと思えます。自分の可能性を信じてまずは突き進んでいただくことをお勧めします。

(同窓会のご協力を得て「先輩からの言葉」を掲載しています。)

#### ※今後の予定 (進路関係)

1月21日(水) 国公立大学2次試験出願 (~2月2日(金))

31日(水) 実力テスト (1・2年生)

1年生.. 全統高1 記述模試 (河合塾)

2年生.. 全統高2 記述模試

2月5日(月) 大学入学共通テスト平均点などの最終発表

7日(水) キャリアガイダンス (1年生)

25日(日) ~国公立大学前期試験